

平成 20 年度 全国学力・学習状況調査の結果について

本校 6 年生の全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。

1 学力の状況について

(1) 国語 A (知識) と国語 B (活用) について

文章の内容に合わせて、小見出しを書いたり、目的に応じて必要な情報を取り出して効果的に書いたりするなど『書くこと』や、目的や意図に応じて段落の内容を読み取ったり、場面の描写、登場人物の特徴をとらえたりする『読むこと』に課題が残る。

(2) 算数 A (知識) と算数 B (活用) について

四則計算が中心の『数と計算』や図形の定義や性質を理解する『図形』に定着度のよさが見られた。しかし、算数 A では、何倍かを求める計算や重さ・面積について生活と関連付けること、情報を整理したりして筋道を立てて考えることに課題が残る。

(3) 国語と算数について

「知識」に関する問題 A と「活用」に関する問題 B を比較すると、「知識」に比べて「活用する力」が低く、全国と同様の傾向が見られ課題が残る。

2 学習習慣・生活習慣の定着について (児童質問紙に表れた傾向)

(1) 学習に対する関心・意欲・態度、家庭学習等について

- ・ 全国と比較し、国語、算数の勉強が将来に役立ち大切であると考えている子供が多い。しかし、その比率に比べると学習が好きである子供が少ない。子供が学習を好きになり、意欲をもって勉強に取り組む環境づくりを工夫する必要がある。
- ・ 読書好きな子供が多くいるが、読書の時間がやや少ない。学習への関心を高めるためにも、読書への取り組みを充実させたい。
- ・ 家庭においては、学校で必要な持ち物を確かめたり、宿題や予習にしっかり取り組んだりする子供が多い。家庭学習の時間が少ない子供がやや多く、与えられた課題に取り組むだけでなく自主的な学習に取り組む態度を育てたい。

(2) 家庭・地域での生活について

- ・ 本校は、家庭での基本的な生活習慣が定着している子供が多い。家族と一緒に食事をする子供が多く、家庭でのコミュニケーションが適切に行われていると考えられる。
- ・ 地域の歴史や自然に関心を持ち、地域清掃活動など地域の行事に参加している。地域と子供の結びつきがあり、今後も地域とのかかわりを深めていくようにしたい。

(3) 子供自身に関することについて

- ・ ものごとを最後までやりとげて、満足感を感じている子供が多い。また、「自分にはよいところがある」、「将来の夢や目標を持っている」、「将来人の役に立つ人間になりたい」と回答する子供が多く、子供が自分自身の今や未来をしっかり見つめていることがうかがえる。さらに成就感や自己肯定感が高まるような指導を工夫したい。

3 学校として

- ・ 学力や学習の状況を考え、学習に対しての関心・意欲・態度の育成が重要になっている。学校においては、一人一人に応じたきめ細かな指導を心がけ、分かる授業を目指し、学習好きな子供を育てていくように努める。また家庭での自主的な学習も大切にし、勉強の仕方や時間などについて具体的にアドバイスができるよう努めていきたい。

学校では、子供たちのよさをさらに伸ばし、課題となった点は方策を検討していきます。保護者の皆様には、先日配布したリーフレット「家庭学習のすすめ」(富山県小学校長会の作成)を参考にして、子供が家庭で学習に集中できる環境づくりにご協力をお願いいたします。